




いぶき 第79号  
 発行者 吉野 公博  
 編集 患者サービス向上委員会  
 香川県丸亀市城東町3丁目3番1号  
 TEL (0877)23-3111  
 FAX (0877)24-1147  
 季刊誌 年4回発行  
<http://www.kagawah.johas.go.jp>

### 新年のご挨拶

香川労災病院 病院長 吉野 公博



皆様、明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナウイルス(武漢肺炎、新型コロナウイルス)が発生してそれが拡がり、大変な状況となりました。年は明けても、まだまだその影響は続いており、心配もあります。対応に関してどこまで考えて行かないといけないのかなど、精神的にも疲れてしまう可能性があります。3密を避け、手洗い、うがい、マスク着用をこまめに行うことにつきると思います。そうすれば、まず、香川県内では感染することは非常に少ないと考えられます。肅々とやっていきましょう。今年も、労災病院は、丸亀市医師会及び近隣の医師会、また、丸亀市を中心に周囲の行政組織とも

連携して、地域医療や感染対策を行って参ります。労災病院に対して、御要望がございましたらあげていただくともに、ご指導、御鞭撻のほど、お願い申し上げます。

労災病院は、常に急性期医療とがん診療を2つの軸として地域医療に貢献したいと考えております。次年度の更新に向けて今後、がん診療棟(仮称)の建設を行う予定です。これは、放射線治療装置の更新が必要となったためです。現在、放射線治療装置が設置されている部屋で入れ替えると半年から10ヶ月治療を止める必要があります。これでは、治療が必要な方々にご迷惑がかかるものと考え、別棟を立てて、そちらに新しく設置することとして、治療に切れ目がないように図っていく予定です。治療器が新しくなり、さらに充実した放射線治療が行えると考えています。また、棟の別の階には、新しく情報コーナーを移し、採血室を拡張

して患者さんの利便性を上げていきたいとも考えています。我々もがん診療棟(仮称)には、大きな期待をかけています。

他の診療装置としては、昨年12月にCTの更新を行いました。検出器が320列と今より高性能なCTを導入しました。撮影時間が短くなり、患者さんへの負担を少しでも軽減できるのではないかと考えます。また、造影CTで心臓の冠動脈を以前より正確に撮影することが可能となり、循環器内科ではより有用な検査となると考えています。

本年の目標としては、患者サポートセンターの更なる機能の充実が上げられます。これまでも、入院支援、入院前支援、両立支援など患者さんが入院前、入院中、退院後とすべてにおいて支援できるよう、段階を踏んで進めて参りました。それには多くの職種が連携してその支援を進めていかなくてははいけません。その連携をよりよい方向へ更に進めることが患者さんの満足度を上げることにつながると考えています。

最後になりますが、今年は引き続き、新型コロナウイルスと共

**香川労災病院の理念**

働く人々や地域の人々に  
 安全で安心のよりよい  
 医療と看護を提供します

存しながらの生活となります。先が予想できないのが最も不安をかき立てる原因です。しかし、少しずつ色々なことが分かり、予防、治療も進んでいくと考えられます。繰り返しになりますが、やるべき対策を地道に行って参りましょう。他方、もし、体調で気になることがあれば診療を受けてください。病院へ行くと新型コロナウイルスに感染するかもしれないと考えて我慢している、わかったときには手がつけられなくなってしまう病气もあります。こういうことがあると言うことを、よく知っておいて下さい。

労災病院は、地域の中核病院として役割を果たして参りたいと考えております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

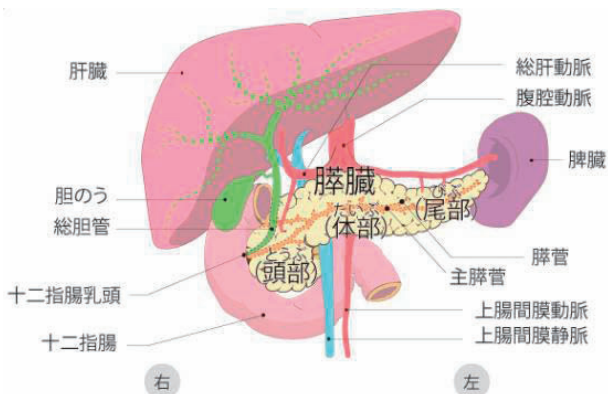
膵臓は胃の後ろにある長さ15cmほど、厚さ2cmほどの左右に細長い臓器です。右側の十二指腸に囲まれたふくらんだ部分を膵頭部、左側の細くなっている膵臓と接する部分を膵尾部、その間を膵体部といいます。また膵臓には膵管という管が網の目のように走っています。膵臓がんは膵臓に出来るがんで、多くは膵管の細胞から発生します。



膵臓がんについて知ろう

内科 小林 聖幸

の悪い疾患です。ところが、日本膵臓学会の膵癌登録報告によれば、腫瘍の大きさが5年生生存率をみると、10mm以下の場合80・4%、10mmで50・0%と比較的良好ですが、20mmを超える20%以下に低下します。ここから、早期の診断が可能になれば予後改善に期待できることがわかります。膵臓は、がんが発生して



●がん死亡数予測(2020年)

男女計		男性		女性	
部位	死亡数	部位	死亡数	部位	死亡数
全がん	379,400	全がん	220,500	全がん	158,900
肺	75,600	肺	53,200	大腸	25,200
大腸	54,000	大腸	28,800	肺	22,300
胃	43,500	胃	28,300	膵臓	18,400
膵臓	36,700	膵臓	18,400	乳房	15,500
肝臓	24,900	肝臓	16,300	胃	15,200
胆嚢・胆管	18,400	前立腺	12,700	胆嚢・胆管	8,900
乳房(女性)	15,500	胆嚢・胆管	9,500	肝臓	8,700

国立がん研究センター がん情報サービス がん登録・統計

も症状は出にくく、進行してくると腹痛、食欲不振、黄疸、背中の痛みなどが起こります。症状がある際には積極的に受診・検査を受けていただきたいのですが、早期に見つけるためには、以下のような危険因子がある方、特に複数個お持ちの方には症状がなくても受診や検査を考慮していただきたいと思っています。腹部超音波検査や血液検査での腫瘍マーカー測定などの患者さまへの負担が少ない検査から

膵がんの危険因子

家族歴

膵癌家族歴, 家族性膵癌

合併疾患

糖尿病, 慢性膵炎, 膵管内乳頭粘液性腫瘍(IPMN), 膵嚢胞, 肥満

嗜好

喫煙, 大量飲酒

職業

塩素化炭化水素の暴露

科学的根拠に基づく膵癌診療ガイドライン2016

行うことも可能です。また当院では小さな膵臓がんの発見や診断に有用な、超音波内視鏡検査も導入しており、CT検査、MRI検査などの検査と組み合わせ、可能な限り迅速で正確な診断を心掛けています。根治を目指すには手術治療が不可欠ですが、手術に先行して化学療法を行う術前化学療法、化学療法や放射線療法などの集学的治療も日々進歩しています。それ



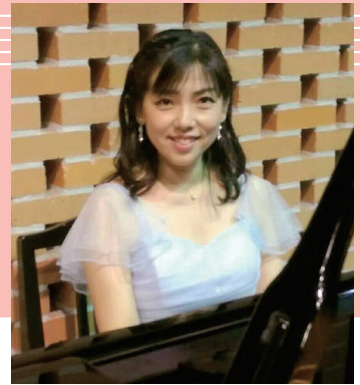
香川労災病院 イメージキャラクター ホト丸くん

それぞれの患者さまに合った適切な治療が提供できるよう、外科、内科が常に連携し診療にあたっております。気になる症状、お悩みなどありましたらお気軽に受診ください。

連載 5

# 「演奏家として」ドイツ編①

## ピアニスト 田村 真穂



田村真穂さんは丸亀市出身で、パリ・エコールノルマル音楽院を修了された後、オルデンブルグ州立歌劇場でヨーロッパデビュー。天性の豊かな音楽性で聴衆を魅了し、現在も国内外で幅広く活躍されています。

口、オランダメンから西に45キロある町、北ドイツ、ニーダーザクセン州オルデンブルグ。バロック様式のお城、時が止まったような中世の街並みと深い森、運河が流れる自然豊かなこの町で私は暮らすことになりました。カルガモや白鳥の泳ぐ美しい池に面し、背の高いドイツツトウヒの木立に囲まれた家の2階、ここは92歳の上品なお婆さんの家です。彼女は、使い込まれた重厚なマホガニーのテーブルや銀の燭台、壁に青い絵皿が掛けられた落ち着いた部屋で、感じのいい安楽椅子に座り「これらの家具や食器は母や祖母が使っていたもので、私は貰ったのではなく、預かっていたのよ」と話してくれました。ドイツの人々は、全ての物に神が宿るという「九十九神」を心に持つ日本人と似て、長い時間を掛けて受け継がれた良い伝統と文化、心も受け継いで、古より人々に愛され残ってきれ美しいクラシック音楽を側に暮らしています。

隣に住むバルトロクさん一家、お父さんのユルゲンさんはドイツ警察に勤務する屈強なゲルマン人。彼らは郷土料理にビール、サツカー観戦、毎週末のホームパーティ、移動遊園地、礼拝、いつも私を誘ってくれ、日々の暮らしや習慣を教えてくださいました。どう見てもユルゲンの「展覧会の絵」を弾き始めた時は腰を抜かすほどびっくりしましたし、なぜトーマスの鼻唄がモーツァルトの「魔笛」で、しかもなぜあんなに正確なのか! 問えば、ドイツの子供は幼稚園か小学校の学芸会で必ず何かのオペラを体験するとのこと。

ドイツで育まれたクラシック音楽の豊かな土壌を目の当たりにし、いつも感服するばかりです。森の国ドイツの人々は無類の散歩好き。私も練習の途中、池の向こうの森へ行き、鳥の囀りや木々のざわ



ユルゲンとトーマス



町の人々に愛され大切にされているオルデンブルグ州立歌劇場は、ニーダーザクセン州で最も古い伝統と格式のある劇場ですが、私はこのオルデンブルグ州立管弦楽団のメンバーと共演できることになりました。3月のコンサートプログラムは、シューベルトとブラームのピアノ五重奏です。これまでゲヴァントハウス八重奏団やバルントロク室内合奏団、ウィハン弦楽四重奏

めき、木漏れ日や梢の雪に五感が研ぎ澄まされることを体感し、ベートーヴェンが毎日何時間も森を歩いていた理由を氷解する思いで、練習中のソナタや交響曲を胸に歌い、どうしようもなく涙が溢れたり背中になんか生えたような気持ちになりました。そんなある日、私の心の中でベートーヴェンが指揮棒を振り下ろした瞬間ゴォーと風が吹き、森がすごい音で鳴りました。これだ! と駆けて戻りピアノに向かい、偉大な人がすぐ近くに感じることをありありと感じながら一心に弾きました。森は作曲家と自分の中継点。私は森を介して作曲家と対話し、森と共鳴し、いつも森から力を貰って勉強していました。



「そうだね。それともここは」。「いいね。素晴らしい!」練習を重ね、半年が経ち、いよいよコンサート当日、ついにその日はやって来ました。連載⑥へ続く



団など様々な来日アーティストと日本で共演しましたが、通常、本番の3日ほど前から合計3〜4回の練習で当日を迎えます。ところが「そろそろ合わせようよ」と言われたのが10月。えっまだ半年も前。まだちゃんと弾けていないし困ったなあ。おぼろげと稽古場へ行くと「Moh(ハロー)」皆にこにこしています。なかなか音楽が始まりません。誰もが楽器を手にとらず、この曲についてどう思うかを話してきます。その日は冒頭のところだけ楽しく音を出しておしまい。そうです。出上りがつたものを持ち寄るのでなく、時間を掛けて皆でゆっくり一緒に作っていくのです。その曲を慈しみ、その曲を作った偉大な作曲家に敬意を払い、感謝して、丁寧に作っていく、その作業は尊く愉しいものでした。いい本番にならないわけがない? 「このテンポがいいね。なぜならこうだから。」

### 部署紹介「西5病棟」

西5病棟師長 大林美代子

西5病棟は、消化器・呼吸器・乳腺疾患を中心とした一般外科病棟です。がんの患者様が多く、手術・抗がん剤の治療や終末期の疼痛コントロールを行う患者様が主に入院しています。手術件数は年間約1200件以上と忙しい病棟ですが、手術前から手術後の観察とケア・退院への準備など健康回復の支援を目標に日々の看護に携わっています。

2020年10月より患者様の体により負担の少ない手術支援ロボット、ダヴィンチでの腹腔鏡手術が開始されました。開腹手術に比べ入院期間の短縮や日常生活への復帰が早いなどのメリットがあります。また近年は高齢者や様々な基礎疾患をもたれる患者様の手術が多く、患者様一人ひとりの状態に合わせた早期発見や術後合併症の予防に努めています。



また、患者様やご家族の方が退院後に安心して療養できるように、医師や退院支援看護師、MSWと連携を図っています。



四季の植物

クリスマスローズ  
キンポウゲ科・  
クリスマスローズ属

西4病棟看護師・高橋希巴江

クリスマスの時期にバラのような花を咲かせることが名前の由来です。草丈20~30cm、シックな花色(白・桃・黒など)が特徴的です。花言葉は「慰め・私を忘れないで」等、11月16日、12月13日、12月26日の誕生花です。

### 肝臓病教室

外来看護師 横田 由美

肝臓の病気の種類も色々ありますがある程度病状が進行しないと症状が出現しない事が多い臓器です。そして元の状態に戻るのが難しいことが少なくありません。年4回肝臓病教室は病気のテーマで開催しています。講演終了後には肝臓専門医による無料健康相談も実施しています。「サプリメント、健康食品を使用しているけど本当に安全か、心配だけど誰に相談すればいいの？」など、不安なことへの解決に教室に参加してみませんか。当院肝臓病チーム

肝臓の病気の種類も色々ありますがある程度病状が進行しないと症状が出現しない事が多い臓器です。そして元の状態に戻るのが難しいことが少なくありません。年4回肝臓病教室は病気のテーマで開催しています。講演終了後には肝臓専門医による無料健康相談も実施しています。「サプリメント、健康食品を使用しているけど本当に安全か、心配だけど誰に相談すればいいの？」など、不安なことへの解決に教室に参加してみませんか。当院肝臓病チーム



あけましておめでとうございます。昨年は、新型コロナウイルスの影響で、いろいろな面で制限される事が多かったでしょう。当院でも、イベントや教室が中止になり、地域の皆様と交流する機会が少なかつたように感じます。本年も、感染予防を含め、より良い診療情報を提供できるように努めて参りますので、よろしくお願い致します。広報誌「いぶき」では、皆様からのご意見、ご要望をお待ちしております。ぜひ、お寄せください。

### 新任医師紹介



麻酔科医師  
もり のぶ けんた  
森信 健太

はじめまして、令和2年12月より赴任しました麻酔科の森信健太と申します。先月までは広島県の福山市民病院で勤務していました。最近の休日は釣りに出かけることが多いです。先月はドラゴンサイズの太刀魚を狙ってテナヤ釣りに出かけました。来年はオフショアジギングにも挑戦しよう

計画しています。麻酔科は患者さまとお話する機会が少ない科ですが、ふっと時間ができたときはベッドサイドでゆっくりお話を聞くのも好きです。安全で快適な手術麻酔が提供でき、少しでも自分の納得のいく麻酔をかけることができますようにこれからも修練を積んでいきたいと思っています。

### 編集だより

患者サービス向上委員  
山下 成実